

おの議会だより

No.226

令和6年1月25日



20歳のつどい（1月7日開催）

主な内容

12月定例会の概要	2・3ページ
一般質問の概要	4～8ページ
常任委員会審査報告	9・10ページ
議案等の各議員表決	11ページ
特別委員会報告	12ページ

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひご覧ください。



議会だよりを音声で聞けます

議会だよりの掲載内容を読み上げた音声データをホームページに掲載しています。音声の吹き込みは、音訳ボランティアグループ「麻那の会」の協力で行われています。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

補正予算 の議案

議案第91号・92号・93号
令和5年度大野市一般会計
補正予算（第5号・6号・7号）

91号 修正可決
92号・93号 可決

補正前の予算額 → 補正額(増額) → 補正後の予算額
196億5655万円 7億9370万円 204億5025万円

12月 定例会の概要

第437回定例市議会が11月27日から12月18日までの22日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、令和5年度一般会計補正予算案、条例の改正案、市道路線の認定、指定管理者の指定、人事案件など全21議案のほか、9月定例会から継続審査となっていた令和4年度決算認定議案4件について審議しました。

審議結果は、11ページのとおりです。

補正のあった主な内容	補正額	補正後の額
【地域応援商品券・デジタル地域通貨発行事業】 プレミアム付き地域応援商品券・デジタル地域通貨の発行	1億3648万円	1億3648万円
【住民税非課税世帯への物価高騰暮らし応援給付金給付事業】 住民税非課税世帯等に対し1世帯当たり7万円の給付	1億9359万円	2億8056万円
【保育所管理運営経費】 おむつの持ち帰りを無くすため、公立保育園の使用済おむつの保管等に使用する集積場や備品の整備・購入	117万円	1億5986万円
【民間保育所等おむつ持ち帰りゼロ支援事業補助】 おむつの持ち帰りを無くすため、民間保育園の使用済おむつの保管等に使用する備品の購入に対し補助	142万円	142万円
【小中学校再編計画推進事業】 上庄中学校、尚徳中学校の統合記念事業の実施に対し補助	286万円	9596万円
【財産管理事務経費】 旧蔵生小学校の屋外遊具等の撤去、旧奥越農業共済事務所の解体工事費の増額	1005万円	6999万円
【障がい福祉施設等物価高騰対策支援事業補助】 障がい福祉施設等の高騰した電気料・食材料費に対する補助	576万円	1041万円
【介護施設等物価高騰対策支援事業補助】 介護保険施設等の高騰した電気料・食材料費に対する補助	1793万円	3397万円
【中小企業者省エネ設備導入支援事業】 市内事業者が行う省エネ設備の整備に対する補助金の増額	500万円	1074万円
【除雪経費】 冬季除雪に必要な経費の増額	2億1640万円	3億6077万円

条例の改正

大野市手数料条例の 一部を改正する条例案

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行いました。

大野市火災予防条例の 一部を改正する条例案

消防法施行規則及び対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令等の公布に伴い、所要の改正を行いました。

指定管理者の指定

指定管理者の指定について （大野市まちなか観光拠点施設及び越前おおの結ステーション）

大野市まちなか観光拠点施設及び越前おおの結ステーションの指定管理者に一般財団法人

越前おおの観光ビューローを指定し、指定期間「令和6年4月1日から令和8年3月31日まで」を「令和6年4月1日から令和7年3月31日まで」に修正可決しました。

指定管理者の指定について （大野市元町会館）

大野市元町会館の指定管理者の指定を継続審査としました。



元町会館

人事案件

教育委員会委員の任命について

引き続き、松谷由美氏（右近次郎）を任命することに同意しました。

その他

議案の撤回

市道路線の認定

新たに、友江5号線、友江6号線及び右近次郎団地南北7号線を市道路線に認定しました。

議案第73号 令和5年度大野市一般会計補正予算(第5号)案の撤回について

議案の撤回について承認しました。

市政運営に関する申し入れ

令和5年12月第437回定例会において、議案上程後に「議案第73号 大野市一般会計補正予算(第5号)案」に計上すべき経費の漏れがあったため、議案を撤回する事案が発生したことに関連し、12月14日付けで大野市議会議長から大野市長あてに、以下の点について申し入れを行いました。

- 1 議案を提出するに当たっては、細心の注意を払い万全を期す体制を整えるとともに、予算に関しては財務システム活用によるリスク回避策を含めて対策を強化し再発防止に努められたい。
- 2 現在の大野市役所は、組織のガバナンスが機能していないように見受けられる。危機管理を含めた体制強化を図られたい。

令和4年度 大野市各会計決算総括表

●一般会計

区 分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	197億1833万円	189億695万円

●特別会計

区 分	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	34億9942万円	33億9306万円
和泉診療所事業	8340万円	8283万円
後期高齢者医療	5億1820万円	5億1504万円
介護保険事業(保険事業勘定)	40億8464万円	39億7581万円
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	1469万円	1469万円
農業集落排水事業	3億1009万円	3億190万円

●企業会計

区 分	収益的収支 (事業運営と施設管理)		資本的収支 (施設整備など)	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	1億3742万円	1億3161万円	3824万円	1億1397万円
簡易水道事業	1億5605万円	1億2578万円	6311万円	8041万円
下水道事業	7億3170万円	7億511万円	6億8075万円	9億4168万円

※資本的収支の支出に対する収入の不足分は留保資金などで補てん

(○白崎、○猪嶋、笹山、林、伊東、野村、梅林)

令和4年度の市税収納率は97・0割で、前年度と同率となっている。現年度課税分の収納率は99・2割と高い水準にある。

徴収が困難なケースもあると思われるが、負担の公平を期すため、収納率向上に努められたい。

市では、令和5年3月に脱炭素ビジョンを策定し、市民、地域、事業者、行政が官民を挙げて、脱炭素の取り組みを推進することとした。

市民等と目指すべきゴールを共有し、目標達成に向けた取り組みが加速されるよう、スピード感を持って取り組まれた。

令和4年度における市のシステム経費の総額は約3億4522万円となっている。システム等の導入に当たっては費用対効果を念頭に、行政と市民の双方の利便性向上が図られるものとされた。

また、市のICTアドバイザーを効果的に活用するとともに、遠隔地に住む人にとってメリットが享受できるものを検討されたい。

公共施設の在り方

施設の設置意義が薄れ、運営に行き詰まり感があったり、設置目的が十分に達成できていなかったりする施設については、指定管理者制度の導入などにより、経費の削減と民間事業者等のノウハウを活用した新たな発想による運営への見直しを検討されたい。

令和4年度 歳入歳出決算を認定

決算特別委員会の主な内容

脱炭素の取り組み

デジタル化の推進

全市民への物価高騰対策を求める

庁内で予算を調整し市民への支援を考える



無党派
のむら

野村 勝人 議員



一般質問

- 問** 物価高で市民は貯金を取り崩したり、生活の質を落としてやり繰りしており、早急に対策が必要である。資材高騰で疲弊している事業者等への支援、また住民税非課税世帯だけでなく、全市民への物価高騰対策は。
- 答** 住民税非課税世帯に1世帯当たり7万円給付する経費のほか、障がい福祉施設や介護保険施設等に対し高騰する食材料費の一部を支援する経費の補正予算案を追加提出する準備を進めている。市民に対する追加支援策も今後検討する。
- 問** 検討するという答弁で今まで全市民への対策は実現していない。予算化できないのか。
- 答** 庁内で予算を調整し市民への支援を考えていく。
- 問** 11月29日付けの新聞各紙において、非正規公務員の給与改定で4市
- が国通知対応せずと記載されたがなぜか。非正規公務員の4月にさかのぼった給与改定は、いつ行うのか。期末手当に加えて勤勉手当が支給されるようになるのか。
- 答** 掲載された内容については、報道した実施機関に対して市から情報提供していないので回答できない。
- 給与改定については、必要な会計年度任用職員の給与等の条例改正・補正予算を検討し、本年度3月定例議会に提出する。勤勉手当については、令和5年5月に地方自治法が改正され、期末手当と勤勉手当の支給ができることになった。施行は令和6年の4月以降となっている。
- 市の条例改正と対応する予算が必要であり、3月議会に認められれば、6年度から支給する。

農業集落排水を公共下水道に接続することによる利用料金は

個々の使い方にもよるが、5人までの世帯では減額となる傾向



市政会
しらさき

白崎 貴之 議員



- 問** 企業版ふるさと納税のこれまでの実績は。
- 答** 令和3年7月に国から地域再生計画の認定を受け、企業版ふるさと納税を募集し、これまでに3件の寄付を受け入れ、その都度、企業名や寄付金額などをホームページや広報おおので公表している。
- 問** クラウドファンディングで叶える地域のみの応援事業は、令和6年度以降の取り組み予定はあるのか。
- 答** 令和5年度の募集状況が、若い世代による独創的な企画であったことなどを踏まえると、挑戦意欲を促し、結果としてまちづくりの担い手の発掘や育成に寄与した。このような特長を生かして令和6年度も継続し、市制施行70周年記念事業を含め、市民団体が行う事業を支援していく。
- 問** 農業集落排水を公共下水道と接続することの住民のメリットは。
- 答** 大規模改修に係る地元分担金制度の廃止や、これまで地区で行っていた使用料金の徴収や処理場の清掃などの住民負担が軽減できること。
- 問** 農業集落排水を公共下水道に接続することによる利用料金は。
- 答** 公共下水道の市街地周辺部と上庄及び富田地区内の市営簡易水道で、過去5カ年平均の使用水量を用いて算定した使用料金を比較すると、1人から5人までの世帯では、使用料金が減額となる傾向である。過去5カ年平均の使用水量を用いた傾向であるため、各処理区の使用料金が異なることや個々の使い方によっては増額になることがある。



「こどもまんなか社会」のビジョンを どのように考えているか

官民協働により、子ども・子育てを支援する
取り組みを充実させていく

高田 達達
たかだ たかだ
やすまさ
育昌 議員



- 問** 「こどもまんなか宣言」の趣旨とは。
- 答** こども家庭庁が創設した制度で、子どもたちのために何が最も良いのかを常に考え、子どもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現しようとするもの。
- 問** 「こどもまんなか社会」のビジョンは。
- 答** 第六次大野市総合計画を推進するとともに、官民協働により子ども・子育てを支援する取り組みを充実させていく。
- 問** 子どもの遊び場を整備するに当たり、まちなか遠足に来る児童・生徒への対応は。
- 答** 遊び場の工事期間中はワクワクまちなか遠足事業は休止する。今後、指定管理予定者等と協議し、事業の整理を図りたい。
- 問** 六呂師エリアを中心に、星空の観望者、観光客の増加が見込まれるが、光害を減らさなければならぬ中、安全対策をどう考えているか。
- 答** 星のまちおおの推進協議会においてルールづくりを協議し、星空観望を行うルールやマナーをホームページなどで周知する。また、安全に誘導する看板の設置など必要な環境を整えていく。
- 問** 星を見にくる人に対するサービスは。
- 答** 星空ハンモックによる星空観望会、天体観望会、プラネタリウムの上映が行われ、3月から着地型バスツアー「はびバス」が運行予定である。また星空の魅力を伝える上で県が養成する「星のソムリエ」の協力が力になることから、県自然保護センターと連携していく。雨が降っている日は小型ドーム型のプラネタリウムで対応していく。



市の単身高齢者の終活支援は

自身が残したいメッセージや意志を書き留めておくエンディングノート「つぐみ」の配布、普及啓発を行っている

伊東 由起恵
いとう ゆきえ
伊東 由起恵 議員



- 問** 女性のがん対策について、国立がん研究センターは、AYA世代（15歳から39歳の若年層）のがん患者の約8割が女性であったとの調査結果を公表した。AYA世代のがん対策について、市の考えは。
- 答** 乳がんと子宮頸がんは、女性のがんの中でもかかる人が多く、どちらも早期発見には検診が有効。検診のほかにも、子宮頸がん検診の受診に抵抗を感じる若い女性には、自宅で行うことができる自己採取HPV検査の案内を行っている。
- 問** また、がん治療により外見が変化した方には、自分らしい社会生活を送るためにウィッグや補正下着などの購入費の一部を助成する、がん患者ケアピアランスサポート事業を実施している。
- 問** 市の単身高齢者への終活支援は。
- 答** 葬儀や相続、医療や介護のことなど、万が一のときに備え、元気なうちから人生の最終段階の準備をしていただけるよう、自身が残したいメッセージや意志を書き留めておくエンディングノート「つぐみ」の配布、普及啓発を行っている。
- 問** 带状疱疹の予防の一つにワクチン接種があるが、定期接種ではなく全額自己負担で費用が高額である。そのため、希望する人の費用負担を軽減する助成制度の検討をお願いしたい。
- 答** 国の審議会でも带状疱疹ワクチンの定期接種化に向け、慎重に審議されている。定期接種化されれば補助が受けられるようになるので、国の動向を見ながら対応していきたい。

令和6年度の予算編成は

基本方針に五つの重要事項、財源確保、歳出の重点化を掲げた



清風会
やまざき としあき

山崎 利昭 議員



問 令和5年度当初予算の執行状況は。

答 11月末時点の執行状況は、予算額の合計約119億7700万円に対し、執行額は約92億7700万円、執行率は77%となっている。1月から3月に執行が見込まれる経費も多いため、執行率のみで判断することは困難だが、全体としてはおおむね順調に進捗している。

問 令和6年度の予算編成は。

答 基本方針として、五つの重要事項、財源確保、歳出の重点化を掲げた。子育て世代の市外流出割合が県内最多であると思うが、その原因がどこにあるのか。

答 県の人口は75万9000人で、前年度と比較し7784人の減少で、10年連続で減少し、平成

25年以降最大の減少幅となった。本市においては、住民基本台帳に基づく、1月1日時点の人口は3万964人となり、居住

実態に即した調査である県の推計人口によると、10月1日時点で2万9453人となった。直近5年間の20歳から49歳までの転入数から転出数を引いた数値を同年代の人口で割ると、本市はマイナス2・7%となり、県全体の平均がマイナス0・8%の中、最も低い数値となっている。さまざまな要因が絡んで生じているものの、子育て世代は良質な雇用環境や生活の利便性、高い所得水準を求めて転出していることが推測される。よって、

地域経済の活性化と多様な働く場の確保は、子育て世代の流出抑制対策として極めて重要である。

一般質問

星空保護区認定後の取り組み及びスターランドさかだにに対する来年度予算はあるのか

星空保護区の周知を促進するため、看板修繕や誘導施策を計画中である



大野市民の会
だいきゆう しげのり

笹山 晃一 議員



問 星空保護区認定後の取り組み及びスターランドさかだにに対する来年度予算はあるのか。

答 星空保護区の周知を促進するため、看板の修繕や誘導施策を計画中である。道の駅「越前おおの荒島の郷」から下唯野へ入っていくルートや県が設置している道路標識などについても精査を進め、修正可能な箇所から改善を行う内容である。勝山方面においても県と協力して、看板に六呂師高原という表現を追加するなど提案をしていきたい。

問 スターランドさかだにについても維持管理費としての予算を要求する考えである。

答 令和8年から閉校になる小学校について、来年度は校舎活用を協議するなどの予算はあるのか。

答 各地区の区長会やま

ちづくり協議会に相談をしていく予定だが、開催時期やそのための予算は考えていない。

問 令和8年4月から校舎の活用をするのであれば、令和7年度には計画を完成させるため、令和6年度から地元との相談を始めないと遅いと思うが。

答 そのようなことで考えていきたい。一方で行政でも公共施設として活用できないかという両面で今後検討していく。

問 現在、どのような方針で道路の維持管理を行っているか。

答 道路施設の長寿命化計画を策定し、道路の計画的で効率的な維持管理と財政負担の軽減・平準化を目指している。改良事業費を減らし、年々増加する施設補修などの維持管理事業費の確保に努めている。

公共交通機関、市内タクシーの利便性向上の状況は



大野市地域公共交通計画を策定した。来年度以降、市内の公共交通ネットワークシステムを再構築していく

大野市民の会
岸本 一敏 議員



- 問** 本市が取り組むまちなか活性化策は。
- 答** 民間主催の誘客イベントを市ホームページに掲載し、情報発信している。イベント開催支援や、空き店舗を活用した新規出店者に対する補助を実施。来年度から「越前おの観光ビューロー」と連携し、まちなかのにぎわい創出につなげる。
- 問** 公共交通の利便性向上やタクシーの充実が必要な課題と捉えるが現状は。
- 答** 公共交通は、利用者は減り運転手も不足しているが、高齢者の外出支援や来訪者の移動手段として重要と考える。市内タクシー事業者3社のうち1社は和泉地区で営業。常時運行は4台程度で、日曜・祝日は1社が2台で運行し、夜間営業はしていない。公共交通の持続可能性が課題である。
- 問** 来年度以降の取り組みは。
- 答** 新しい大野市地域公共交通計画を策定した。公共交通ネットワークを再構築する。また、タクシー利用が活性化されるよう事業者と意見交換を行い、検討を進めていく。
- 問** 文化会館空調設備の現状は。
- 答** 現在は通常どおり稼働している。今後、故障箇所によっては修繕が難しい状況。その場合、冷暖房を使用しない時期への利用変更や、他の施設の利用をお願いしたい。
- 問** 文化会館を建設した場合の想定金額は。
- 答** 本市に見合うコンパクトな施設を目指す。現基本計画の建設費を下回る額を想定。国の補助金を活用し、本市負担分は有利な起債を活用して負担額軽減に努める。

職員数を改めると経常収支比率が改善されるのではないか

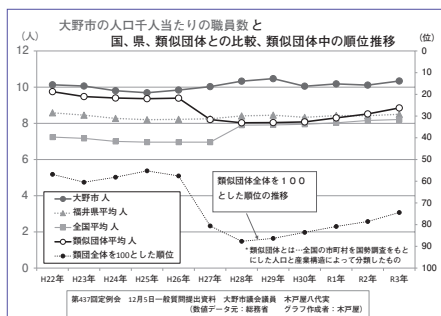


分析しきれていないところもあるので勉強していく

もえぎ会
木戸屋八代実 議員



- 問** 中学校の学校再編で、生徒のスクールバスの乗降方法、安全確保、危機管理などについてどのように行うのか。
- 答** より安全・安心なスクールバスの運行のため「大野市スクールバス運行マニュアル」を委託事業者や学校と協議の上、教育委員会で作成する。
- 問** 令和6年度の中学校2校における結の故郷教育相談員や支援員の配置方針は。
- 答** 安心して学校生活を送ることができるよう、各校の相談室の利用状況や気掛かりな生徒の割合など、実情に応じた相談員と支援員の配置に努めていく。
- 問** 総務省のデータでは、本市は経常収支比率が近年100%近くを推移している。一般家庭で言えば、定期的に入ってくる収入が、食費やロ
- 問** 中学校の学校再編で、光熱費などの生活する上でどうしても必要な経費がほとんどで余裕がない状況。人口千人当たりの職員数の推移を見ると類似団体の平均と比べ、最近2人くらい多い。ここを改めると、経常収支比率が改善されるのではないかと。
- 答** 本市単独で消防職員を抱えている。面積が広いという問題もある。分析しきれていないところもあるので勉強していく。



運転免許自主返納事業で電動アシスト三輪車の補助を検討できないか

事故の恐れがあり、補助は考えていない



大野市民の会
いのしま 猪嶋 清文 議員
きよ ふみ



問 10月28日に中部縦貫自動車道の勝原ICから九頭竜ICまでが開通した。

和泉地区の住民にとっては、生活の道、命の道となる大変重要な位置付けの区間であると認識しており、降雪による通行規制が心配であるが、この道路の除雪基準、予防的通行規制の基準について、市はどこまで把握しているか。

答 福井河川国道事務所によれば、荒島ICから九頭竜IC間までの14キロメートルについては、九頭竜IC横の和泉除雪基地が担当し、その除雪基準は5センチであるが、予防的通行規制の基準については公表できないとのことである。

除雪機械の増強や除雪体制の充実により、可能

な限り通行止め時間の短縮を図ってもらえるよう、国に対して働き掛けたい。

問 運転免許自主返納事業で、返納をためらっている人への支援策として、電動アシスト三輪車の補助を検討できないか。

答 現行の支援策を拡充しつつ、引き続き返納を推進していきたい。

問 電動アシスト三輪車の補助については、おおい町で実施しているが検討できないか。

答 自転車による転倒事故の多くは高齢者で、新たにモーター付きの乗り物に乗るということは、交通安全の推進からは逆行すると考えており、補助制度については考えていない。

一般質問

中学校の学校再編に向けて令和6年4月まで、どのように取り組むのか

4月から円滑に学校生活を始められるよう取り組む



もえぎ会
うめばやし 梅林 厚子 議員
あつこ



問 中学校再編に伴い、生徒が安心して登校できるように、今後どう取り組んでいくのか。

答 再編に向けて学年別の交流や新入生学校説明会に準じた現1・2年生への説明会を行う予定。さらに、個別に生徒の相談に応じることを念頭に、従来の教育相談機関を充実させる。

また、気掛かりな生徒については、心身の状態の把握だけでなく、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関との連携についても確実に文書で引き継ぎ、教職員間、全小中学校において情報を共有する。

問 不登校や気掛かりな生徒に対する取り組みは。

答 全小中学校において、居場所づくりと絆づくりの取り組みと、児童・生徒の実情に応じた結の故郷教育支援員・相談員の配置に努める。

問 来年度の支援員は増えるのか。

答 国費・県費等のことも十分に勘案して対応する。

問 現在関わっている支援員・相談員を引き続き配置してほしい。

答 学校とも相談し、子どもたちの状況をしっかりと把握し対応する。

問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正された。教育行政における責任者は誰か。

答 教育長と教育委員の合議体である教育委員会が責任を負う。

市長は議会の同意を得て教育長と教育委員を任命すること、予算の執行を行うなどを通して間接的に責任を負う。

くりの取り組みと、児童・生徒に対する取り組みは。

市長は議会の同意を得て教育長と教育委員を任命すること、予算の執行を行うなどを通して間接的に責任を負う。

常任委員会審査報告

くらし産業

(○)白崎、○廣瀬、笹山、猪嶋、林、山崎、廣田、梅林)

議案第88号 指定管理者の指定について(大野市まちなか観光拠点施設及び越前おおの結ステーション)の修正案



結ステーション

◎理事者の説明

一般財団法人越前おおの観光ビューローを指定管理者とし、指定管理期間を令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間としたい。

◎委員の意見

屋内型子ども遊び場の整備工事が予定されていることや、エリア内の駐車場について、その利用計画や有料化実証実験の方針などに不確定な部分が多く、また当該法人は、まだ実績のない団体であるため、複数年の委託を行うことに不安を感じる。

指定管理期間を1年間と修正するべき。

元町会館の指定管理者の指定

◎理事者の説明

元町会館運営委員会を引き続き指定管理者とし、指定管理期間を令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間としたい。

◎委員の意見

七間通りに面した会館の一部を、大野市観光協会の事務所として使用することを市が許可している状態となっており、指

定管理委託の内容と整合が取れていない。よって

管理の在り方を関係者と調整し、指定管理委託の詳細な内容を明確にする必要があることから継続審査としたい。

なお、運営委員会の管理実績に不備はなく、当委員会としては、令和6年度以降の指定管理者として適任と考えている。

市立集会所の指定管理者の指定

◎理事者の説明

16カ所の市立集会所の指定管理者として、引き続き各運営委員会を指定し、指定管理期間を令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間としたい。

◎委員の意見

今後、施設の老朽化に伴う、大規模改修や建て替えが必要となる施設もあると考えられるので、集会所の譲渡や集約なども念頭に、各運営委員会と協議し、各施設の在り方の方向性を示された

除雪体制

◎理事者の説明

本年度の除雪契約については、昨年度から2者減り、66者と締結した。現在、市道路線等の除排雪に当たる除雪車のオペレータ不足を解消するため、除雪オペレータ人材育成支援事業を実施している。

◎委員の意見

継続してオペレータの育成を支援し、除雪事業者の確保、除雪体制の充実に努められたい。



除雪

農業集落排水事業

◎理事者の説明

汚水処理の最適化に伴う農業集落排水施設の統合により、使用料金が減

くらし産業常任委員会の意見交換会

11月10日、全員協議会室で大野青年会議所、結の故郷ビジネスサポートチーム、大野商工会議所青年部とくらし産業常任委員会で、「地域の経営環境」をテーマに意見交換をしました。

参加者からは、商圏の狭い経営環境が市内事業所の特徴であり、インターネットを使って稼ぐことが有効であることや、中部縦貫自動車道の開通が経済の起爆材になることに期待するとの意見が述べられました。



額する傾向であるが、使用水量が多い家庭では、使用料金が増額となる場合もある。

各処理施設維持管理組合への説明や地区区長会への報告を行っている。後々の混乱を避けるためにも、さまざまなケースを想定して、丁寧な説明を行い、利用者の理解を得ながら、事業を進められたい。

◎委員の意見

▽総文厚生

（◎高田、○伊東、帰山、岸本、木戸屋、野村、堀田、高岡）

こどもまんなか応援サポーター等

◎理事者の説明

本市の子育て支援施策は、こども家庭庁が提唱する「こどもまんなか社会」の実現に合致した取り組みであることから、令和5年8月に「こどもまんなか応援サポーター」を宣言。宣言は情報発信のツールと考えており、サポーター宣言を上手に活用し、PR戦略に使用していきたい。



◎委員の意見

令和5年4月施行の「こども基本法」の基本理念に、「家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できる社会環境を整備すること」が掲げられており、さまざまな機会を通して、将来の本市を担う若者を含め、広く市民の意見を聴き、法の基本理念に則した取り組みを、全庁挙げて進められたい。

越前大野名水マラソンにおけるガバメントクラウドファンディング

◎理事者の説明

「第60回越前大野名水マラソン」大会の経費の一部をガバメントクラウドファンディングで募集し、多くの寄付が市外から寄せられており、参加者をはじめ、大会の運営や沿道で応援する市民にも楽しんでもらえる活用策を検討していきたい。

◎委員の意見

これまで参加してもらえなかった人が参加したくなるような斬新なアイデアにより、盛り上がりのある大会となることを期待する。



越前大野名水マラソン

市税の収納状況等

◎理事者の説明

令和5年度市税の11月末日時点の収納率は、前年度同時期と比較して低い状況であり、年末に向けて催告書の送付や納税相談等を通して徴収を強化していく。

◎委員の意見

市全体の収入や支出の状況を的確に把握し、適正な資金運用を行うとともに、引き続き市税等の収納に鋭意努められたい。

ヘルスウォーキングプログラム

◎理事者の説明

中間報告で、医療費及び介護給付費の削減効果が確認されたことや参加者からの声などを考慮し、来年度も事業を継続したい。

◎委員の意見

取りまとめた最終報告をホームページ等で公表する際は、事業効果等が市民に分かりやすい内容となるよう留意されたい。



まちなか交流センター代替施設の対応

◎理事者の説明

代替施設の選定の参考として、令和4年度体育施設利用状況をホームページで公開している。今後実施する体育施設利用調整会議等で利用者の意見を聞きながら調整を図っていききたい。

◎委員の意見

ホームページでスムーズに体育施設の利用状況を確認できないとの声を聞いている。混乱を最小限にするためにも、容易に検索できるように、本年度内での調整に努められたい。

総文厚生常任委員会の意見交換会

11月16日、大野市PTA連合会、大野市民間保育所保護者会連合会、大野市立保育所保護者会連合会と総文厚生常任委員会で、「子育て支援」をテーマに意見交換をしました。

参加者からは、子ども医療費支援が手厚く助かっていることや、大野ですくすく子育て応援パッケージから詳細な情報取得が可能となるようにしてはどうかなどの意見が述べられました。



令和5年12月第437回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・継続審査・同意・承認された議案等

議案番号			議決結果	議案名	議案番号			議決結果	議案名
市長提出議案	74	可決	令和5年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）案		市長提出議案	87	可決	指定管理者の指定について（大野市立集会所）	
	75	可決	令和5年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算（第1号）案			(88)	可決	指定管理者の指定について（大野市まちなか観光拠点施設及び越前おおの結ステーション）の修正案	
	76	可決	令和5年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）案			88	可決	修正部分を除く指定管理者の指定について（大野市まちなか観光拠点施設及び越前おおの結ステーション）	
	77	可決	令和5年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）案			89	継続審査	指定管理者の指定について（大野市元町会館）	
	78	可決	令和5年度大野市水道事業会計補正予算（第1号）案			90	可決	指定管理者の指定について（大野市和泉前坂家族旅行村）	
	79	可決	令和5年度大野市簡易水道事業会計補正予算（第1号）案			(91)	可決	令和5年度大野市一般会計補正予算（第5号）案の修正案	
	80	可決	令和5年度大野市下水道事業会計補正予算（第1号）案			92	可決	令和5年度大野市一般会計補正予算（第6号）案	
	83	可決	大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案			93	可決	令和5年度大野市一般会計補正予算（第7号）案	
	85	可決	大野市火災予防条例の一部を改正する条例案			94	同意	教育委員会委員の任命について	
	86	可決	市道路線の認定について			撤回議案	承認	議案第73号 令和5年度大野市一般会計補正予算（第5号）案の撤回について	

各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名		議員名（議席番号順）	議決結果	笹山晃一	埴山寿章	猪嶋清文	岸本一敏	白崎貴之	木戸屋八代実	林順和	廣瀬浩司	伊東由起恵	山崎利昭	野村勝人	高田育昌	廣田憲徳	堀田昭一	梅林厚子	高岡和行
市長提出議案	68	令和4年度大野市歳入歳出決算認定について【継続審査】	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	69	令和4年度大野市水道事業会計の決算認定について【継続審査】	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	70	令和4年度大野市簡易水道事業会計の決算認定について【継続審査】	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	71	令和4年度大野市下水道事業会計の決算認定について【継続審査】	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	81	大野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	82	大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	84	大野市手数料条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	91	修正部分を除く令和5年度大野市一般会計補正予算（第5号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

議長（堀田昭一）は採決に加わらないので「/」で表示。議案等に賛成○、反対×

行政視察レポート

中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会

10月25日・26日に岐阜県内の2市町の行政視察を実施しました。

中津川市では、同市地域公共交通計画と公共交通ネットワークの再編について、白川町では、白川・東白川地域公共交通網形成計画と公共交通システムについて説明を受け、各市町の施策について研修しました。

白川町では、どの集落からも乗り物を組み合わせて行きたい所へ行ける公共交通網が整備され、全ての地域から高校通学が可能となっています。

こども政策・公共施設等改革特別委員会

10月18日・19日に実施しました。

長野県駒ヶ根市では令和2年の出生数が大幅に少なく、この危機的な状況を市民と共有し、打開するため「子育て全力応援」を宣言。結婚・出産・子育ての施策の充実に取り組んでいます。

岐阜県土岐市では市立総合病院を廃止し、隣の瑞浪市と広域連携で総合病院を令和8年に開業します。岐阜県厚生農業協同組合連合会が運営の公設民営とするとのことです。

議会運営委員会

11月13日・14日に愛知県知立市、尾張旭市、瀬戸市の各市議会の議会運営について視察を実施しました。

今回の視察の目的は、当市議会の議会改革の取り組みの参考とするため、市民への議会報告会や意見交換会の在り方、予算関係委員会の運営方法、市に対する政策提言の手法などについて研修することです。

各市の取り組みを参考に、今後の当市議会の運営に生かしていきます。

特別委員会報告

中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会

(◎山崎、○高田、帰山、岸本、林、梅林、高岡)

【インターチェンジの名称等の工夫】

◎理事者の説明

中部縦貫自動車道の（仮称）油坂出入口の名称決定のスケジュールは、まだ国から聞いていない。

◎委員の意見

本道を利用して九頭竜湖畔等に向かう車が迷わずに（仮称）油坂出入口で降車できるよう、正式名称や案内看板の設置による工夫を国に働き掛けられたい。

【タクシー事業者への支援】

◎理事者の説明

タクシーが利用するLPガス供給施設の廃止に向け、タクシー事業者への車両買い替え等に対する支援を検討している。

◎委員の意見

タクシーの台数増加や営業時間延長などを望む市民等の声大きい。タクシーの存続と運行の充実が図れるよう、タクシー事業者への支援を検討されたい。

こども政策・公共施設等改革特別委員会

(◎伊東、○猪嶋、笹山、白崎、木戸屋、廣瀬、野村)

【結婚相談】

◎理事者の説明

大野市婦人福祉協議会が結びあいで実施する結婚相談において、令和5年度上半期の相談件数は延べ222件、そのうちお見合いに至ったものが2件あったが、成婚までに至ったものはない。

◎委員の意見

成婚が増えることで、出生率の向上が期待できることから、理事者には、若者の結婚につながるような取り組みを期待する。

【公共施設の適切な管理運営】

◎理事者の説明

九頭竜保養の里フレアール和泉は当初の「見直し」から「譲渡」へ、また、笛資料館は「廃止検討」から「廃止」へと、再編を進めたものがある。

◎委員の意見

財政経営課は施設所管課と連携を密にし、地元の理解を得ながら、公共施設等総合管理計画を着実に進められたい。

3月市議会定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26 本会議 (開会) 特別委員会 (予算)	27 議案調査	28 議案調査	29 議案調査	3/1 議案調査	2
3	4 本会議 (代表質問) (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 常任委員会 (くらし産業) 予算特別委員会 分科会	8 常任委員会 (くらし産業) 予算特別委員会 分科会	9
10	11 常任委員会 (総文厚生) 予算特別委員会 分科会	12 常任委員会 (総文厚生) 予算特別委員会 分科会	13 委員会予備日	14 委員会予備日	15 委員会予備日	16
17	18 特別委員会 (予算)	19 特別委員会 (中部縦貫自動車 道等交通対策) (こども政策・ 公共施設等改革)	20 春分の日	21 委員会予備日	22 委員会予備日	23
24	25 本会議 (閉会)	26	27	28	29	30

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（R階）にお入りください。

日程は、予定のため変更になる場合があります。

本会議と常任委員会は、午前10時の開会を予定しています。3月19日の中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会は午前10時開会、こども政策・公共施設等改革特別委員会は午後1時開会を予定しています。

また、2月26日の予算特別委員会は本会議終了後に、3月18日は午前10時の開会を予定しています。

ただし、開会前の会議により遅れる場合もあります。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。

(☎0779-64-4830)

編集後記

議会だよりを発刊するに当たり、本年1月1日に発生しました能登半島地震で犠牲となられました方々に、心よりお悔やみを申し上げます。また被災されました方々に、お見舞いを申し上げます。

昨年は中部縦貫自動車道勝原IC～九頭竜IC開通、南六呂師エリアの星空保護区認定など、本市にとり希望に満ちた重要な年となりました。

交通基盤の整備により、本市経済が飛躍のチャンスを迎えようとしています。

大野市議会といたしましても、行政とともに知恵を出し合い、チャンスを最大限に生かせるよう、そして良い大野市になるよう、精一杯頑張っております。（座長 岸本一敏）

議会だより編集委員会

委員 岸本一敏
伊東由起恵
山崎利昭
梅林厚子

※次回は、4月下旬の発行を予定しています。